

こえ
聲

私のいいたいこと



植木 大介さん
(祖母井)

素晴らしきふるさと

生まれ育ったふるさと、芳賀町に貢献したいと考え、5年ぶりに帰郷することになりました。芳賀町は自然豊かで環境を大切にしています。芳賀町2050カーボンニュートラルを宣言し、先進的に地球温暖化防止に取り組んでいます。また、LRTが開業され、交通の便もよくなり、地域資源も豊富で観光客の増加も期待できます。一方、人口減少と少子高齢化が課題です。15年後には人口が1万6千人から1万2千人となる予想もあり、地域経済が縮小される可能性もあります。

そんな中、大切なふるさと、芳賀町のためにできることは…同世代のコミュニティは若者同士の横のつながりを生み出し、地域活動への参画を促す重要な要素であり、地域再生における重要なカギであると考えます。このつながりを通じて、多くの方が住み続けられる基盤作り、機能的かつ魅力的なまちを形成するといったお手伝いをするのが当面の自己役割であることだと信じ、微力ではありますが尽力したいと思います。



関口 拓也さん
(芳志戸)

未来の消防団について

私は、地元消防団に所属し現在部長を務めています。

活動していると思うことが新規団員の確保が難しいです。勧誘活動を通して若い世代の声を聴く機会があります。やはり現在多種多様な勤務形態に伴い消防団活動に参加できるか不安だとの声を聴きました。それについて思うのは、消防団員を雇用している企業・団体に何らかのメリットがあってもいいのではないのでしょうか。例えば町の税制の優遇や芳賀町広報誌での企業広告を掲載したりなど企業・団体に消防団員が必要だと思ってもらうことが重要だと思います。

また、芳賀町はLRTや団地があることにより子育て世代の夫婦が増えてきているように思います。子育て世代に入団頂くのは難しいので、その方々に向けた消防団広報活動を行ってはどうでしょうか。未来の子どもたちが消防団に入団しても良いと思える町政を行っていただきたいと思います。



小林 祐輝さん
(東高橋)

活気あふれる芳賀町に

芳賀町では、特産品である米や梨やいちご、様々な野菜などのおいしく新鮮な農産物が「道の駅はが」で安く手に入ります。僕自身も実家で新しくぶどうを栽培し始め、今年からぶどうを販売しています。

そこで僕は、さらなる集客のために道の駅とロマンの湯を一体化させ、1つのレジャー施設のようになればいいと考えています。昨今、各都道府県が道の駅に力を入れ、県内外から道の駅を目指して来る人が増えていていると聞きます。「道の駅はが」も新しくリニューアルして観光地化すれば、開通したLRTとの相乗効果でたくさんの人が訪れるのではないかと思います。

リニューアルされた「道の駅はが」でより多くの方が、温泉を楽しみ、特産品を買って芳賀町の魅力を感じてもらい、芳賀町がより活気あふれる町になることを期待しています。